



車内の金城学院大学

130 限目

「現代子ども教育学概論」

 130
Dignity & Humanity
KINJOGAKUIN ANNIVERSARY 2019

「「どんぐりころころ」には続きがある？」

〔童謡の歌詞〕

大正時代に作られた童謡『どんぐりころころ』。「どんぐりころころ どんぶりこ」から始まり、池に落ちたどんぐりとドジョウが遊ぶ愉快的歌詞ですが、2番では、しばらく一緒に遊んでいたどんぐりが、最後は「お山が恋しい」と泣き出したところで唄は終わります。少し可哀想ですが、作者はこの先を子どもたちに想像してほしいと思い、あえて2番で唄を終わらせたと言われています。しかし昭和に入り、ある作曲家が合唱曲として編曲した際に、3番の歌詞を創作。「どんぐりころころ泣いてたら 仲良し子りすが飛んできて 落ち葉にくるんでおんぶして 急いでお山に連れてった」と愛情あふれるストーリーを付け加えました。このように歌詞を付け加えることは非常に珍しいのですが、どの作者も、唄を通じて子どもたちが豊かな感受性を育めるように、喜びや哀しみ、優しさを伝えようとしたのです。

子どもの可能性を見つめ、健やかな成長を助ける。それが人間科学部 現代子ども教育学科。

強く、優しく。



金城学院大学